

# モノづくり



感動と笑顔を届ける。  
モノは「人」がつくり、



# 城陽が、変わる。

「こりこり」という擬音語から、何をイメージしますか。固いものを削る様子や、力強く進む様子などを想像する方がほとんどではないでしょうか。しかし、私たちは、「わがまち城陽」のことを真っ先に思い浮かべます。鉄道も高速道路もなかったその昔、京都と奈良の都を結ぶ奈良街道がありました。京都から五里、奈良から五里と双方の真ん中に位置した城陽は「五里五里の里」と呼ばれるようになりました。そんな交通の要衝が、悠久の時を経て、今まさに大きく変わろうとしています。耳を澄ませば聞こえてきませんか。城陽が変わる「こりこり」という音が。

城陽市を含む京都府南部地域には、京都と滋賀を結ぶ「京滋バイパス」、京都と大阪を結ぶ「第二京阪道路」、京都と奈良を結ぶ「京奈和自動車道」の高速道路網が整備されています。平成29年4月には新名神高速道路「城陽八幡京田間」が開通し、令和6年度には新名神高速

道路「大津城陽間」の開通及び(仮称)城陽スマートICの供用が予定されています。

また、これにあわせて、府内初となるプレミアム・アウトレットの開業や、国道24号城陽井手木津川バイパスの整備などが進められています。

さらには東部丘陵地青谷先行整備地区では、日本初となる高速道路ICに直結した専用ランプウェイが接続する基幹物流施設の建設が発表されるなど、関西圏の一大物流拠点として整備が進められています。

これからの城陽市は「ヒト」、「モノ」、「情報」、「サービス」などが行きかうハブ都市となり、大交流の時代を迎えます。同じエリアに立地した企業同士のネットワークや、市全体の企業間連携を深めるネットワーク組織の形成が進み、あらゆる方面から人が集まり、城陽市の存在感が高まっています。

今号では、城陽市の技術を担う「技能功労者」と「優秀技能者」をご紹介しますとともに、城陽市を牽引していく元気な企業を知っていただくため、城陽の発展を支える様々な企業の魅力をお伝えしていきます。

## 新名神開通 大津～城陽間

令和6年度

- 京都市役所[約35分]
- 学研都市精華・西木津地区[約25分]
- 奈良市役所[約35分]
- 大阪市役所[約45分]
- 京都舞鶴港[約95分]

神戸まで 約65分

名古屋まで 約100分

開業予定 令和7年 東部丘陵地長池地区

### プレミアム・アウトレット開業

竣工予定 令和8年 東部丘陵地青谷地区

### 基幹物流施設等竣工

JR京都駅まで 約22分

## JR奈良線 複線化

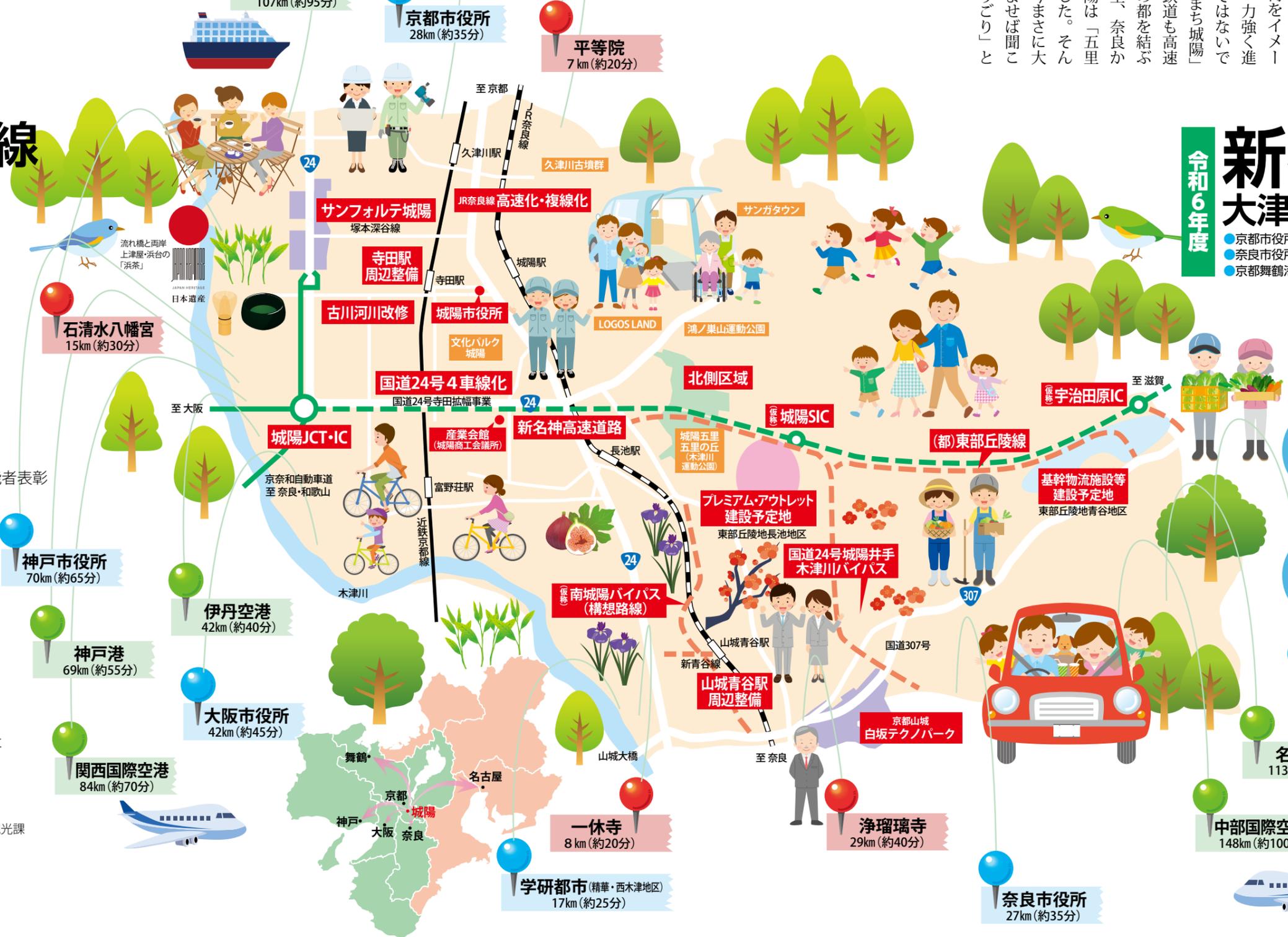
令和5年(2023年)3月  
○JR京都～JR城陽間

京都・城陽の企業を応援する情報誌 城陽カンパニー [令和4年春号]

## ジョーカー CONTENTS

- 2 城陽が、変わる。
- 4 城陽市技能功労者・優秀技能者表彰
- 8 関西畳工業株式会社
- 9 農事組合法人 京都養鶏生産組合
- 10 株式会社杜若園芸
- 11 株式会社ナプラス
- 12 ホリモク株式会社
- 13 株式会社松原造園
- 14 株式会社 もりた園
- 15 ワタキューセイモア株式会社 近畿支店 城陽工場
- 16 市長挨拶・優遇制度

[発行] 城陽市まちづくり活性部 商工観光課 ☎ 0774-56-4018  
[編集] 城陽商工会議所 ☎ 0774-52-6866  
[制作協力] ココロ株式会社





令和3年度から、優秀技能者表彰を新設し、建設、造園、製菓、理容、友禅染など、8名の優秀技能者が表彰されました。

平成6年から開始した、技能功労者表彰は、城陽市内において、永く同一の職業に従事され、特に優れた技能を持つ30年以上の実務経験を有する、60歳以上の方々を称える制度で、令和3年度は49職種から55職種に対象職種を拡大し、技能功労者4名が表彰され、城陽市技能功労者は累計148名となりました。

匠の技を極める  
28年続く技能功労者表彰

令和3年度技能功労者を紹介



「金銀糸造加工職」の  
木村典央さん  
金銀糸の製造工程において、原料

となるフィルムや和紙等を細かく糸状に裁断する「マイクロスリッター」という技術に特化して技術を高め、製品がより良くなるよう、次の工程のための工夫もされて、業界の発展に努めておられます。



「野菜漬物工」の  
森隆志さん  
乳酸菌の特性を熟知され、52年間、

日曜・盆・正月関係なく一日も欠かさずぬか床に手を入れ技術を磨き、季節による気温、湿度の変動に合わせて絶妙に調整を行い、いつ食べても同じ味になるように製品を仕上げておられます。



「製茶工」の  
菊岡政次さん  
城陽で50年近く  
茶の栽培に取り組

まれ、茶園の土づくり、茶葉の被覆資材、手摘みによる収穫まで細部に研究を重ねられ、最高級の茶葉から「碾茶」生産を実現され、平成24年には黄綬褒章、令和2年秋には旭日単光賞も受賞されました。



「大工」の  
松山寿一さん  
47年という年月  
をかけた技術を培わ

れ、木材に加工するための目印をつける「墨付け」という技術を有し、一戸建て一棟を一人で建てることのできる水準の技術を持つ職人であり、若い世代の職人の指揮を取り、第一線で活躍されています。



令和3年度  
城陽市技能功労者・優秀技能者表彰式

# 城陽市技能功労者を表彰 令和3年度から 優秀技能者表彰を新設

令和3年度の城陽市技能功労者・優秀技能者に対し、令和3年11月8日(月)に表彰式を行いました。技能功労者は4名、優秀技能者は今回新たに8名が表彰され、表彰式には技能功労者3名、優秀技能者8名の出席がありました。



優れた若い技能を讃える  
優秀技能者表彰を新設

次世代の優秀な技能者を見出すための優秀技能者表彰の新設を行いました。対象は30歳以上の一級技能士若しくは単一等級技能士または、これらの方と同等の技能を有する方で一定期間の市内在住・実務経験、団体等による推薦が必要です。「技能士」とは、技能検定試験に合格した人に与えられる国家資格で、「技能検定」は、技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。初年度であ



城陽市長 奥田敏晴

技能功労者・優秀技能者の皆さまと対話し、皆さまの卓越した技能が、城陽市の宝であることを実感しました。皆さまがこれまで学んで鍛え上げられた技術、育成される後継者は城陽市に元気と、笑顔をもたらします。自信と誇りをもってこれからもお仕事に励んでいただけるよう、和やかで、あたたかなまちづくりに取り組んでまいります。

今回の、多様な分野で活躍され、今後の産業を担う8名が表彰されました。これからも、城陽市技能功労者・優秀技能者表彰により、一人ひとりの技能者の意欲を高め、市の産業全体がより良く、活力あふれるものになることを目指していきます。次のページでは、表彰された皆さまの声をお伝えします。

# 城陽市技能功労者

※五十音順に掲載しています。

型枠工

大田 鋼平さん  
有限会社石井工務店



私は、現場の建設に携わっています。城陽警察署新築の際は、職長を務めました。打放しコンクリートの仕上げで、型枠を外した後がそのまま残りますので、非常に力が入りました。ベトナム人の技能実習生を指導しており、彼らが母国へ戻り、力を発揮できるよう育成に努めています。

型枠工

植中 亮さん  
有限会社石井工務店



「型枠」は建物の枠をコンクリートで作成する工程です。私は、管理部門を担っており、一級技能士や府技能検定員としての知識を基に、現場の大工さんが仕事をしやすい環境を提供しています。一層仕事に精進し、これまで育てていただいた社長に感謝し、少しでも恩返ししたいと考えております。

## 令和3年度 城陽市 優秀技能者

※五十音順に掲載しています。

菓子製造工

高橋 和巳さん  
三隆屋



生まれも育ちも富野荘です。和菓子は、祭事や生活、人に寄り添うものだと考えています。人生の喜びや悲しみの時、気持ちをのせて相手に伝えることができるような商品づくりを心がけています。シンプルな中にも深みのある、おいしい製品を提供し、地域に愛されるお店を目指していきたいです。

造園師

後藤 勇一さん  
後藤造園



平成元年から市内で造園業を営んでおり、市の剪定等の委託事業にも携わらせていただいています。一級試験は、2.5m四方に、竹垣、つくばい等を配置した作庭が課題です。組合で、試験のための技術指導も努めています。庭を駐車場にするなど造園需要は減少傾向ですが、技術を磨き、今後も頑張ります。

タイル張工

久保 安弘さん  
久保タイル



17歳から住み込みで勤めました。今の会社には32年お世話になっています。お客様が笑顔で「きれいになった」と言われると喜びを感じます。高層ビルの外壁にタイルを貼る際は、仕上がり後剥離したら大事故になるのでいつも以上に緊張します。このような賞を頂けると思っていなくて嬉しいです。

金銀糸製造加工職  
木村 典央さん

(株)木村マイクロスリッター



私の金銀糸工場で行うのは、ポリエステルフィルムを糸状に裁断する工程です。金銀糸は市の伝統産業ですが、最盛期から1/3程度に減り、後継者育成が喫緊の課題です。昔は、和紙に漆を塗り、金泊を貼って製造していましたが、今は、機械や素材の発達で、より薄く、細くできますが、非常に繊細なため、扱いは技術が必要です。金糸は神社・仏閣・エンターテイメント各方面で活用され、テーマパークの華やかなパレード衣装にも使われています。なくてはならないものなので、どんどん後進の育成を進めていきたいです。

製茶工

菊岡 政次さん



上津屋で50年近く茶の栽培をしています。城陽市は気候風土に恵まれており、木津川の荒州は砂地で水はけがよく、茶栽培に適しています。茶の生産に欠かせない、葉を覆うための「本ず」の作成は、市内にある障がい者支援施設の南山城学園の方に、昔ながらの手作りで編んでいただいています。2種の抹茶「陽州の香」は城陽の陽と荒州の州を組み合わせ、「驚坂の昔」も地名から名付けています。現在、若い茶農家が、抹茶アイスクリーム開発など、頑張っています。私はこれからも、お茶のある故郷の景観を大切にしていきたいです。

染色仕上工

山森 美紀さん  
染色工房ヤマモリ



着物文化は、日本人のものを大切にする昔からの精神を表しています。染色に使う刷毛の素材は鹿毛です。繊維がストロー状で、スムーズに染料を吸って、生地にのせられます。全て余さず、鹿の身は食肉に、皮は工芸に、毛は刷毛に、命をいただいてきた道具を長く大切に使うよう心がけています。

畳工

向井 康朗さん  
向井畳店



29歳で転職し、畳職人を始め、仕事後4年間夜間に専門校に通いました。同期が4人いましたが、皆廃業しており、技能が仕事の安定に直結しないことや、後進育成など、業界全体で考えるべき課題があります。丁寧な仕事を心がけ、お客様に喜ばれるよう、一級技能士として付加価値を追求したいです。

理容師

谷 和孝さん  
リーブルタニ



両親が理容店を営んでおり、高校卒業後、嵐山にある理容店で修業し、実家を継いでいます。高い水準で技術が判断される理容技術の競技会での入賞を目指し、8時から19時の営業後、24時ごろまで日々練習しました。若い方に指導する立場になり、「仕事を好きになってもらう」ことを目標にしています。

野菜漬物工

森 隆志さん

株式会社風祥  
京漬物もり香蔵



寺田新池に工場を構えています。周りに惑わされず、細く、長く、「ぶれない」ということを心がけています。漬物は、乳酸発酵の発酵食品です。健康面などから、一時的にもはやされ、流行って、すたれてという流れを繰り返しているように思います。気がかりなことは、気候の変動で野菜が高騰する事態が年々多くなっていることです。私は米ぬかを用いて乳酸発酵させる昔からの手法を続けており、今回はそれが認められたと感謝しています。現在は卸売が中心ですが、今後は、息子と共に、自社の店舗を持つことができたらと考えています。

大工

松山 寿一さん

株式会社久保建築



若いころは長崎で修行しましたが、幼馴染のような関係であった現会長に声を掛けられ現在の会社で働くようになりました。仕事において最も大切にしていることは準備で、段取りが悪いと作業が遅れるので非常に気をつけています。400年前のお寺の改修などはとても思い出深い仕事です。若い方に自分の培ってきた技術を伝える時は、飲み込みが早い人もいればそうでない人もいますので、その人に合った教え方を模索しており、自分が教えた人が長く大工として活躍していることや、教えた人が上達してくれることに喜びを感じます。

城陽市 今西副市長

これからの城陽市には新しい施設等ができ、まちのイメージも変化していきます。アウトレットには、インパウンド需要や新しいお客様にも期待しており、皆さまにもそのような機会を活かしてご活躍いただきたいと考えています。



山城広域振興局農林商工部 西村部長

皆さまのたゆまざる努力をうかがい知り、先人、家族・職場など支えてこられた方や道具等への感謝の思いをお聴きし、貴重な技術であると思いました。その貴重な技術を継承し、発展させていただくことが重要であると考えます。



城陽商工会議所 堀井会頭

体力気力は加齢と共に低下が否めませんが、技能は蓄積であり、簡単には衰えません。磨き上げられた技術が正に評価されるには、自分にはできないモノづくり、ブランド化が必要と考えています。今後も会議所は、技能者の皆さまをサポートさせていただきます。



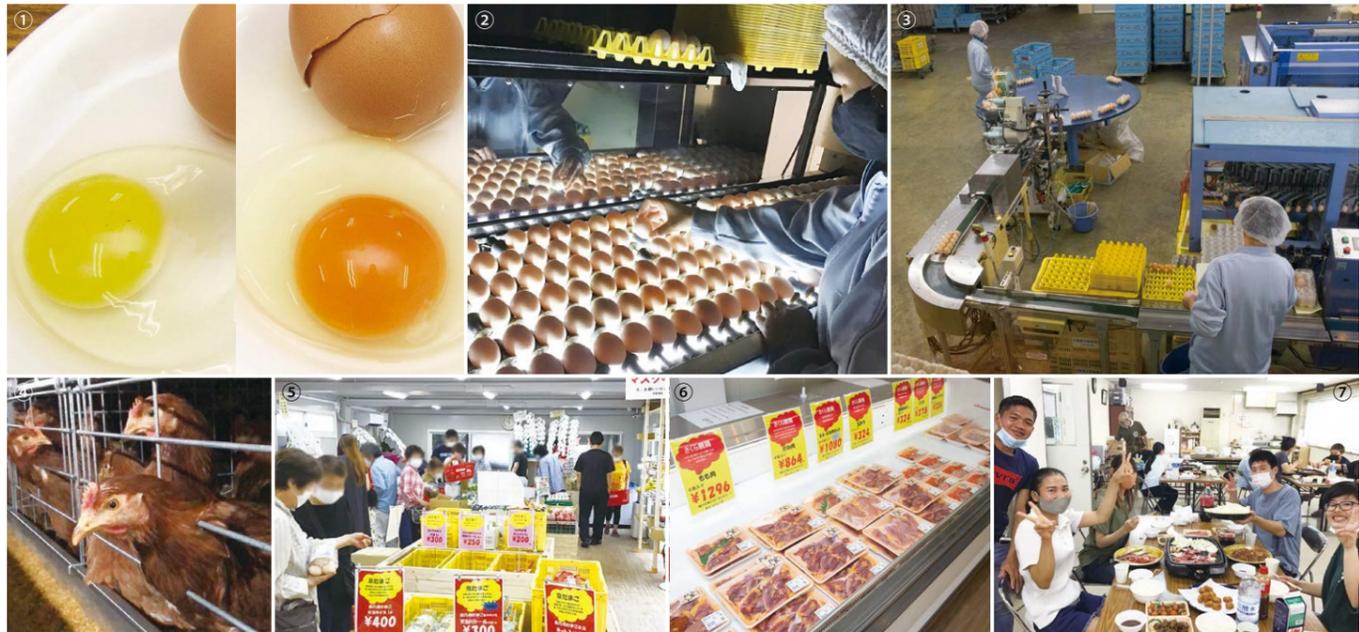
城陽市議会 谷議長

技術の革新と、技能功労者の皆さまの永きにわたる技術の伝承を知ることができました。優秀技能者の皆さまと共に後継者に技を受け継ぎ、それぞれの分野を導かれ、特産品においては6次産業化に力を注がれる等、地域を発展させていただくことを期待しています。





①②一級畳製作技能士や畳ドクターなど資格を持った畳のプロが責任を持って製作している ③畳職人の技が再現できる最新の機器を導入している ④畳製作の順番に合わせた機械や設備が配置された工場内 ⑤関西畳工業のイベントには度々くまモンが登場 ⑥畳関連グッズも豊富に扱い、楽天市場やYahooでも販売し、畳の注文も受けつけている



①美しいレモン色の黄身が特徴の殻産(左)、茶乃月(右) ②投光で卵の割れやヒビをチェック ③洗浄、殺菌、選別などほとんどの作業が自動化されたGPセンター内 ④環境が整った平飼いの鶏舎 ⑤令和2年7月に全面改装した直売所 ⑥朝挽きの鶏肉も販売 ⑦カンボジア、フィリピンの研修生を採用し、彼らの活躍の場も多い

### 養鶏を通して食文化を守り、食料自給率アップを目指す 京たまご「殻産」「茶乃月」や鶏肉、加工品など、 養鶏場からお客様の笑顔と未来のために

城陽市水度坂に西田養鶏所を創業した西田武史氏が、昭和59年に城陽市寺田奥山の約12畝(甲子園球場3倍)の敷地に大規模養鶏場を開場し、「農事組合法人京都養鶏生産組合」を設立。現在、採卵鶏4万羽、肉用鶏1万羽を飼育し、産みだす新鮮な卵、朝挽きの鶏肉、加工品などを販売している。

#### 米留学経験でGPセンター設立

武史氏の次男で現代代表の西田敏氏は、全農の後継者育成コースで学び、留学してアメリカ・アトランタ州の大規模養鶏場で実践を積んで、ジョージア大学では聴講生として見識を広めた。帰国後、これらの経験を活かして自ら企画設計したGPセンターが平成13年に完成。鶏が産んだ卵は自動で集卵され、エアプロトとシャッターで虫や埃を防ぎながら、コンベアでセンターに運ばれる。最初に次亜塩素酸水で殺菌、泡洗浄装置で洗卵。次に投光で透かした卵を人間が目視し、自動検査装置で殻のヒビや血卵を確かめ、合格した卵だけをサイズごとに選別してパック詰めする。投光のチェック以外、全て自動で行われているのだ。

#### 欲しい方に売りたいこだわりの卵

過去にスーパーに卵を卸していたが、価格優先に疑問を抱いていた西田代表は、自分たちが自信を持っておすすめ

### 伝統産業、和文文化、い草農家を守る、畳の職人集団 合掌の精神で畳文化を守り、流行も発信。 被災地に新品の畳を届けるボランティアも

昭和18年、22軒の畳業者が集まって京都大丸近くに創業した「関西畳工業株式会社」。昭和39年に京都市伏見区に本店、昭和63年に城陽市奈島に本社を移転し、畳の製造・販売・施工を中心に、様々な内装事業を手がけている。

#### 一級畳製作技能士らが手がける畳

個人住宅はもちろん、寺院、神社、公営住宅、旅館、料理店、住宅メーカー、建築会社などと取引し、業績は前年比アップが続く。その理由は、お客様の要望を第一に心がけた仕事ぶりにある。畳表を新品にする「畳表替え」、表裏を入れ替える「畳表裏返し」、新品の畳を作る「新調」など、予算や要望に合わせた最適なプランを提案。また熊本のい草農家から仕入れた最高級の天然畳表から、質も良くお手頃価格の中国産、ヘリのない琉球風畳など、ライフスタイルの変化に応じた新しい畳も取り扱っている。

#### お客様第一で、感謝と喜びの声も

「畳を替えたけれど家具や荷物が多くて」との相談は多いそうで、見積りで訪問したときに部屋の様子を見て相

できる卵を、欲しいと思う方に売ることを決意し、様々な卵が誕生した。京たまご「殻産」は、玄米、琵琶湖の外来魚の魚粉、広島産力キ殻など、国産飼料を与えた純国産「もみじ鶏」が産んだ卵。卵特有の匂いが抑えられ、卵の味を堪能できると人気だ。パプリカなど色素成分を与えないため、黄身が美しいレモン色で、加熱すると白くなり、ケーキや料理に使えると料理人も高く評価する。

京たまご「茶乃月」は、宇治茶、ハーブ、ゴマ、海藻など厳選した素材を食べたもみじ鶏が産んだ卵で、旨味とコクがあり、生で食べるのがおすすめで、卵かけご飯に最適で人気とか。

平成17年「ふるさとたまご村」を設立して、直売所をオープン。レストランや和洋菓子店などの取引も増えて、消費者に卵を直接届けることができるスタイルが完成した。

#### お互いを思いやる社会を養鶏から

平成30年9月、台風21号の直撃で多



農事組合法人京都養鶏生産組合  
[創業] 昭和59年10月  
[従業員数] 19名  
[資本金] 1,000万円  
[事業内容] 鶏卵、鶏肉、鶏糞の生産  
[本社] 城陽市寺田奥山1-62  
TEL 0774-55-2717



※GPセンター(Grading Packing Center) 卵を洗浄、乾燥、検査、計量、パック詰めを行う工場

くの鶏舎が壊れ、鶏も卵を産まなくなり、再開まで3カ月近くかかった。「よつ葉ホームデリバリー」をはじめ、多くのお客様が「大変だけど頑張って」と待ってくださった。今、コロナ禍で飲食店の皆さんが窮地に立たされている。私たちがも飼料代が高騰して大変ですが、値上げせず、皆さんを応援したい」と語る西田代表。



たまご村でヤギを飼っていてエサやりも体験もできる。子ヤギも生まれて子どもたちに人気



最新の厨房機器を導入した調理室で、卵を使った加工食品の製造にも力を入れている西田代表

の交渉に掛け合ったそうだ。その労力の甲斐あって、万一、府内のどこで災害が起きても、全国から畳が送られてくる。

活動費用の大半は、全国の畳店がそれぞれ負担している。「被災地の支えになるから、関西畳工業で畳を入れ替えたい」という方もいるそうで、少しずつ活動の認知も広がっている。

熊本のい草を使い、熊本地震の支援などの縁から、同社のイベントに「くまモン」が応援に駆けつけたことも。関西畳工業の今後の様々な活動に、期待が高まっている。



代表取締役の武内秀介社長。  
(左) 昭和40年代の市電吊革広告、昭和50年代の阪神対巨人戦のナイター戦で放送された「合掌マーク」のTVC Mで馴染みの方も多しとか



関西畳工業株式会社  
[創業] 昭和18年3月  
[従業員数] 21名  
[資本金] 5,000万円  
[事業内容] 畳製造販売請負、畳修理加工、敷物、い草製品の販売、襖、障子  
[本社] 城陽市奈島下ノ畔20-2  
TEL 0774-53-5600



# 株式会社ナプラス



①発泡スチロールをプラントに入れる仕事を障がいのある社員が担当 ②③④不純物を除去・選別した発泡スチロールを粉砕・減容固化して高品質ポリスチレン原料が完成。建材などで再利用される ⑤子育てや家事と両立して勤務する女性も多いとか ⑥⑦市内の家庭ごみの回収・運搬の一部をナプラスが担当し、高く評価されている

# 株式会社杜若園芸



①西宮神社の庭園の池を管理 ②永観堂御用達会の一員として池の管理などを任されている ③ハウスをはじめ、城陽市内各所で500種以上の水生植物を栽培している ④公式YouTubeチャンネルでは水生植物の様々な情報を発信 ⑤⑥若い世代が情熱とやりがいを持って水生植物の栽培に取り組んでいる

## 癒し、やすらぎ、健康を提供する水生植物総合提案会社 水生植物の栽培・販売・神社仏閣の池の管理、自社産 のハスを使用した商品の企画販売等、多面的事業展開

500種類を超える水生植物を生産から販売まで、一気通貫して行っている。更に、寺院や神社、公共施設等の池の管理や修景改善などを手がける、日本初の水生植物総合提案会社の「株式会社杜若園芸」。個人愛好家から専門店、量販店と全国様々な要望に応えている。

### 特別電照栽培で冬にカキツバタを

昭和25年、城陽の豊かな湧水に着目した岩見良三氏が、カキツバタや花菖蒲を栽培しはじめた。その後、電照栽培に成功し、日本で初めて冬場の出荷を実現。昭和38年、「杜若園芸」を創業し、城陽が花菖蒲の産地になることに貢献した。

### カキツバタからメダカと水生植物

平成2年、良三氏の長男で現社長の岩見悦明氏が後を継ぎ、仕入れたスイレンの販売を開始。全国のホームセンターに営業をかけ多くの引き合いを得た。高まる需要から多種の水生植物を栽培しはじめる。更に、そこまで普及していなかったホームページを作成し、通信販売も行う。お客様の直接の声を聞くためだ。なぜ購入するのかよくわかった。メダカの飼育の為である。すぐに、メダカが喜びそうな水草を栽培し販売すると喜びの声が広がった。水生植物の可能性への挑戦は、岩見

などの池の管理も任されていて、新たな依頼も続いているそうだ。「全て自社スタッフで実行するので、スタッフはやりがいを持って仕事に取り組め、若い世代も育ってきている」と岩見社長。

YouTubeチャンネルで寄せ植え教室、ハスの実を使用した蓮種、ハスの葉からは京の蓮美茶、ハスの蕾から抽出した化粧品の開発・販売など、若い世代の意見を採用し、多面的に事業展開を行っている。今後も新たな事業に期待が高まる。



五百木部長(左)、岩見悦明社長(中央)、岩見俊孝専務(右)



株式会社杜若園芸  
[創業]昭和38年4月  
[従業員数]50名  
[事業内容]水生植物生産販売、農産物加工販売、水辺緑化設計・施工・管理  
[住所]城陽市寺田庭井108-1  
TEL 0774-55-7977



## 地域社会の環境づくりを考えるエコロジーカンパニー 誰もが安心して安全に働ける環境づくり お互いに思いやる心が、良い仕事につながる

草原で両手を広げた女の子をプリントしたごみ収集車が、城陽市内を駆け巡る。家庭から出る燃やすぐみ、プラマーク製品、空ビン、ペットボトル、紙パックなどを令和3年から市の委託で回収している「株式会社ナプラス」。スーパーや飲食店から出る事業系ごみを回収する中谷商事を、中谷延幸氏が昭和49年に起業したのが始まり。平成7年に法人化、平成14年に株式会社ナプラスを設立し、延幸氏の実娘である藤井恵理奈氏が、平成29年に代表取締役に就任した。

### 障がい者雇用で社内が明るく活発に

きつい、汚い、危険などと言われる業界で、ナプラスは離職率が激減し、就職希望者も増加。その理由は平成29年から開始した、障がい者雇用にあると藤井社長は語る。

「障がいのある社員が安心して安全に仕事ができる環境を整えたら、皆の安心安全に繋がることに気づいたんです。さらに業務を標準化すると、障がい者も女性も高齢者も、誰もが様々な仕事に取り組めるようになりました」

障がいのある社員は、出社すると大きな声で「おはようございます」と挨拶してくれる。みんなもそれに合わせて挨拶するようになった。また仕事の内容や注意事項を分かりやすく説明することで、社員間のコミュニケーション

### ごみ収集の仕事ぶりを市民が高評価

ある日、城陽市役所に市民から電話が入った。「カラス除けのネットをきれいに畳んでくれた」「散らかったごみをきれいに掃除してくれた」。これらの対応をしたのは、ナプラスの収集車の作業スタッフだった。

「障がい者、高齢者、男、女など個性の違いを受け入れ、自分のことも知ってもらうことで、相手を思いやることができるようになります。それがごみ収集の仕事の現場で現れているのかもしれない」と藤井社長。

### 小さな評価が、子どもたちの未来へ

一人ひとりが、やりがいと喜びを感じて働くことで、良い仕事ができる

会社の評価が高まる。それが皆の満足に繋がり、さらに質の高い仕事ができるようになる。小さな成長と小さな評価を積み上げて「子どもたちの未来へ」繋がる地域社会の環境づくりの実現を、ナプラスは目指している。



やりがいと喜びを感じて仕事に取り組む社員・パートの皆さん。「障がい者の雇用は父の念願で、私はそれを実行しただけです」と自重して話される藤井恵理奈社長



株式会社 ナプラス  
[創業]昭和49年4月  
[従業員数]45名  
[資本金]1,150万円  
[事業内容]一般廃棄物処理、産業廃棄物収集・運搬・処分、廃棄物再生等  
[本社]城陽市久世内160番地2  
TEL 0774-54-1007





①②新たにオープンする源氏の湯の作業の様子。何も無い状態から大小様々な岩を並べて露天風呂を造り上げていく ③④松や竹などを植栽。庭の表情を決める重要な作業で、位置決めにもしっかり時間をかける ⑤⑥個人宅の庭も数多く手がけている。窓越しに見える様子を計算してイメージイラストに起こし、造り上げている

松原社長は高校卒業後、建設会社で現場監督を務め、京滋バイパスや第二京阪道路など、地元での大きな土木工事に携わってきた経歴を持つ。その時の経験から、施主様に安心してお任せいただける、責任ある仕事を完遂するには様々な知識と資格が必要になると、自らはもちろんスタッフにも学ぶ機会を設けた。

**技を磨き、資格を持った職人を育成**

松原社長は高校卒業後、建設会社で現場監督を務め、京滋バイパスや第二京阪道路など、地元での大きな土木工事に携わってきた経歴を持つ。その時の経験から、施主様に安心してお任せいただける、責任ある仕事を完遂するには様々な知識と資格が必要になると、自らはもちろんスタッフにも学ぶ機会を設けた。

**木津川堤防の桜つつみの造園**

植木職人に18歳で弟子入りした会長の松原春生氏が、昭和47年23歳の時に所帯を持ち、軽トラック1台で独立したのが「株式会社松原造園」の始まり。資金も得意先もなかったため、京都新聞の二行伝言欄に「庭のこと、承ります」と広告を出して、植木一本の仕事でも手を抜かず一生懸命取り組んだ。

先代の技と情熱を受け継ぎ、大胆で力強く、繊細さを表現  
岩、樹木、土などで造り上げる自然美の空間。  
観る者の心を癒し、永遠に残る庭園づくりを



株式会社松原造園  
[創業] 昭和47年  
[従業員数] 12名  
[資本金] 4,000万円  
[事業内容] 庭園の造園・管理  
[本社]  
城陽市久世荒内305番地  
TEL 0774-54-0400



できるだけスタッフに任せて経験を積ませながらも、自らシャベルや剪定ハサミを持って作業に動しむ松原克弘社長

「庭のコンセプトやテーマを共有するために図面は描きますが、全くその通りになることはありません。全国で買集めた石や木などの材料をその時、その場所に合わせて形を造っていきます。答えのない正解を求めるため、全

**誰もが笑顔になる、庭園造りを**

一級造園施工管理技士、一級土木施工管理技士、一級造園技能士、街路樹剪定士、農業管理指導士など、社員全員が何らかの資格を持つことで、様々な依頼に応える体制が整っている。

この仕事は高く評価され、今春に精華町けいはんな学研都市に開業予定の「源氏の湯2号店」の露天風呂や造園工事を松原造園に任されている。SNSの普及で遠方からの依頼が増えて忙しい毎日を通り越しているそうで、新名神高速道路が全線開通すればアクセスも良くなり、遠方からの依頼にも応えられると意気込む。多くの依頼に応えるためにも、さらに若手職人の育成に力を入れていきたいそうだ。



①原木の表皮を剥がして大きくカットする製材機 ②木材の表面を加工するモルダー機 ③住宅の建材の横架材加工 ④レーザー加工にて作成したコースター ⑤⑥京都御苑中立売休憩所 ⑦京都府庁知事待合室 ⑧京都府庁受付カウンター ⑨昨年度からふるさと納税の返礼品に出品中のまな板

明治32(1899)年に、宇治茶を保管する木箱を堀井竹次郎氏が製造販売したことに始まる「ホリモク株式会社」。2代目の佐一郎氏が製材機を導入し、木造家屋の木材の製造販売を手がけるようになり、昭和23年に堀井製材所を設立。昭和33年に3代目の甚逸氏が所長に就任し、高度経済成長で発展する住宅業界を支えてきた。

**製材、乾燥、加工等一貫生産を実現**

時代が平成に入る頃、住宅の柱や梁を工場で作って、継ぎ手や仕口を加工するプレカットが求められるようになる。さらに海外から乾燥製材が輸入され、工期短縮になると建築現場の主流になっていった。堀井製材所は、時代の変化に対応するために、平成6年ホリモク株式会社を設立し、堀井誠史氏が社長に就任。この時、主要な原木をアメリカ産から京都府産材に切り換えた。そしてプレカットを行う工場を設け、木材を乾かす大型の乾燥機や、木材の表面を加工するモルダー機を導入。さらに自動切削を行うNC加工機、据え置き型の電動ノコギリのスライドソーなど、積極的な設備投資を行った。

**京都御苑、府庁の案件も手がける**

京都府産木材認証制度に登録する取扱事業体「緑の事業体」で構成される「京都府産木材利用推進協議会」の会長に、堀井社長が平成19年に就任した。京都府は、府内産木材の利用を促すために、京都府の様々な施設の木質化を協議会に依頼。協議会の構成企業で実行することになり、家具や木製品の製造を手がけていたホリモクが京都府庁の受付カウンターや知事待合室などを担当し、高い評価を受けたそうだ。

**木質空間の創造で新たな世代へ**

SDGsへの取り組みに積極的に参加し、原木の製材・加工で出た、わずかな端材も徹底して活用。おが屑や木屑は木質バイオマスボイラーの燃料になり、ロスを限りなくゼロにしている。「持続可能な社会の実現に、私たちができることはたくさんあり、働く環境の改善に木質空間が役立てると考えています。若い世代も育ってきているので彼らの自由な発想で実現して欲しいと思います」と堀井社長。



ホリモク株式会社  
[創業] 明治32年  
[従業員数] 22名  
[資本金] 1,000万円  
[事業内容] 一般建築用木材(構造材・内装材・造作材等)の仕入れ、販売。オーダー家具の製造、木質空間の企画提案  
[本社]  
城陽市市辺五島84-2  
TEL 0774-52-0032



京都伝統工芸大学から新卒者を家具職人として採用。新たな世代を担う技術職や職人の人材育成にも力を入れている

時代を変化させるホリモクに期待が高まっている。



①ポケット内のチェックをX線で自動で検査 ②連続式洗濯機で大量の白衣やナース服を自動洗濯 ③服によってプレス・たたみを手作業で行う ④トンネルフィニッシャー前に手作業でハンガーにかける ⑤仕上がった服は自動で運搬 ⑥⑦⑧手術や治療で使った用具などを回収して、京都滅菌センターで消毒滅菌し、安心安全な治療を支えている

ワタキューセイモアでは、2010（平成22）年から院外滅菌事業に着手し、京都滅菌センターを開設した。城陽工場B棟2階に超音波洗浄装置、高圧蒸気滅菌器、EOG滅菌装置などが導入

1995（平成7）年7月1日に完成した城陽工場では、ドクターの白衣、手術着、ナース服、患者衣、タオルなどを洗濯、消毒、乾燥、修理、検査納入を一括して行っている。

2011（平成23）年に城陽工場B棟が完成し、10槽連続式洗濯機、LNG乾燥機など最新設備を導入。1日最大白衣1万7000着、術着2500着、タオル1万4000枚を扱い、京都、大阪、兵庫、奈良、滋賀、福井、和歌山の約2000の病院の白衣やタオルのクリーニングを担っている。



ワタキューセイモア株式会社  
 [創業] 明治5年10月  
 [従業員数] 17,176名 (R3年6月)  
 [資本金] 4,850万円  
 [事業内容] リネンサプライ、医療福祉機器販売、院内業務支援等  
 [城陽工場] 城陽市奈島フケ37-6  
 TEL 0774-55-8851  
 [近畿支店] 綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚12-2  
 TEL 0774-82-5101



1995年発足のソフトテニス部で1999年からワタキューセイモアのクラブチームに。城陽工場に新たにテニスコートを開設し、選手はトレーニングに励む



託児所の様子

ワタキューセイモア株式会社は、1872（明治5）年、村田久七氏が製綿業を営んだことに始まり、1962（昭和37）年には病院基準寝具業者となり、以来病院寝具リースを主体に環境の変化、社会の要請に応じて、食事の提供業務、滅菌業務、院内清掃業務、院外調剤薬局、そして施設内や在宅療養者向けの福祉用具のレンタル及び販売、さらには人材派遣業、建物の設計・施工等、主に医療と福祉関連を対象とした様々な事業を全国で展開している。

城陽工場に京都滅菌センターを設置

1995（平成7）年7月1日に完成した城陽工場では、ドクターの白衣、手術着、ナース服、患者衣、タオルなどを洗濯、消毒、乾燥、修理、検査納入を一括して行っている。

2011（平成23）年に城陽工場B棟が完成し、10槽連続式洗濯機、LNG乾燥機など最新設備を導入。1日最大白衣1万7000着、術着2500着、タオル1万4000枚を扱い、京都、大阪、兵庫、奈良、滋賀、福井、和歌山の約2000の病院の白衣やタオルのクリーニングを担っている。

医療・福祉のあらゆる現場を総合的にサポートする  
 医師の白衣、手術着、ナース服等をクリーニング  
 手術道具等の洗浄滅菌で医療現場を支援する

ワタキューセイモア株式会社は、1872（明治5）年、村田久七氏が製綿業を営んだことに始まり、1962（昭和37）年には病院基準寝具業者となり、以来病院寝具リースを主体に環境の変化、社会の要請に応じて、食事の提供業務、滅菌業務、院内清掃業務、院外調剤薬局、そして施設内や在宅療養者向けの福祉用具のレンタル及び販売、さらには人材派遣業、建物の設計・施工等、主に医療と福祉関連を対象とした様々な事業を全国で展開している。

2011（平成23）年に城陽工場B棟が完成し、10槽連続式洗濯機、LNG乾燥機など最新設備を導入。1日最大白衣1万7000着、術着2500着、タオル1万4000枚を扱い、京都、大阪、兵庫、奈良、滋賀、福井、和歌山の約2000の病院の白衣やタオルのクリーニングを担っている。

常々感謝の気持ちと謙虚な姿勢で

ワタキューグループの基礎を築いた初代社長の村田清次氏とその母ハルエ

城陽工場は、B棟の完成時に託児所が開設され、城陽工場に勤める方の1歳から満3歳までの子どもを預かっている。子育てと仕事の両立をサポートしてくれ、安心して仕事ができる環境が整っている。また東日本エリアでは、内閣府管轄の企業主導型保育事業として、ワタキュー保育ルームや認可保育園などを運営。社員やグループ社員の子どもだけでなく、地域の方も利用でき、大変好評だとか。

子育てと仕事の両立をサポート

城陽工場は、B棟の完成時に託児所が開設され、城陽工場に勤める方の1歳から満3歳までの子どもを預かっている。子育てと仕事の両立をサポートしてくれ、安心して仕事ができる環境が整っている。また東日本エリアでは、内閣府管轄の企業主導型保育事業として、ワタキュー保育ルームや認可保育園などを運営。社員やグループ社員の子どもだけでなく、地域の方も利用でき、大変好評だとか。

医療・福祉のあらゆる現場を総合的にサポートする  
 医師の白衣、手術着、ナース服等をクリーニング  
 手術道具等の洗浄滅菌で医療現場を支援する

され、病院で使われた手術用器械をはじめ、セッシン・カンシ・容器などの鋼製小物、注射器、カテーテル等チューブ類、リネン類など、手術や治療で使われた医療用器材を工場内で洗浄・滅菌している。医師も患者さんも安心して手術に臨める環境を整えてくれると、高い評価と信頼を得ているそうだ。



①一煎目の茶の水色と茶葉の色を見る ②茶葉の香りを確かめる治さん ③後継として治さんの右腕で活躍する長男の森田秀樹さん ④一煎目、二煎目の味、色、香りを比較 ⑤⑥合組した茶葉は注文に応じて自社で少量ずつ袋詰めする。大量に詰める時のために自動封入装置を導入された ⑦治さんが合組した茶葉

「宇治茶のことは、治さんに聞かん」と幾度となくその名を耳にした「株式会社もりた園」の代表取締役で日本一の茶師・森田治秀さん。

治さんの携帯電話には、宇治茶の相談の着信が鳴り止まない。「大丈夫、まかせとき」と応えた治さんは、茶葉を選定する調査室へ向かった。

茶葉を見極め、美味しいお茶を作る

12客の茶碗が2列に整然と並び、奥の6客の茶碗に茶漉しがのついていた。茶農家や卸売業者から持ち込まれた茶葉を、手前の茶碗に直接入れて、湯を注いでいく。時計の秒針が過ぎること1分半、湯の中で開いた茶葉を網で掬いながら、香りを確認していった。

次に茶碗のお茶を、茶漉しがのつた奥の茶碗にいれて一煎目のお茶を残す。茶漉しを手前の茶碗に戻し、お湯をかけて二煎目の茶をいれた。

最初と同じように茶葉の香りを確認し、茶漉しを外すと、水色（お茶の色）を見てから、さじで一杯ずつ掬って口に含み、味や、鼻から抜ける香りを確かめていく。

「これは価格は安いけど、味も香りもいいね。こいつはちよっと欠点が多いから外そうか。これと、それを合わせたら、ええのができるで」と、治さんは満足そうにそういつて笑った。



株式会社もりた園  
 [創業] 昭和46年  
 [従業員数] 7名  
 [資本金] 1,000万円  
 [事業内容] 宇治茶・宇治抹茶の製造、卸、販売  
 [本社] 城陽市富野堀口37  
 TEL 0774-52-1276



農林水産大臣賞受賞、茶審査技術九段

茶葉には旨味、甘味、渋味、苦味、個性があり、茶葉を選んで（ブレンド）することで、クライアントが求める味を作るのが、茶師の仕事だ。

治さんは、昭和44年に親戚の宇治の茶問屋に就職。昼休みに喫茶をしていた様子を見ていた周囲の勧めで茶かぶき（茶審査技術競技会）に出場すると、地区予選、京都府予選を勝ち抜き、全国大会では「初出場19歳最年少で初優勝」に輝いた。また、昭和56年、平成4年に全国優勝で農林水産大臣賞を受賞し、茶審査技術九段を獲得している。

24歳のとき、勤めながら現在の場所に自分の店を持ち、昭和61年に独立し、茶問屋として活動を始めた。令和4年で茶師になって51年を数えるが、今もその時に会おう一葉の味を大切に、茶づくりに精進しているそうだ。

どんな相談にも応える想い

コンビニのスイーツの監修、有名洋菓子店で使う抹茶の選定の依頼、まちのお茶屋さんの茶葉の相談も、分け隔てなく受けている。また、店頭で買いに来られたお客様にも気軽に話しかけて、美味しいお茶の淹れ方や保存方法を教えてくれる。すべては「美味しいお茶を味わってほしい」との思いから。

治さんは、今日も笑顔でお茶を作り続けている。



煎茶「童仙房」100g 1,620円  
 抹茶「泉東の昔」30g 2,160円



店頭でもりた園の宇治茶、宇治抹茶など様々なお茶を買うことができる。ネット販売もあるが、遠方から直接買いに来られる方もいらっしゃるかと

事業所設置促進補助金

補助率等 投下固定資産額等 × 10% (注) 土地取得費は補助対象外です。

| 交付限度額 | 府内常用雇用者数 <sup>※1</sup> | 限度額 <sup>※2</sup> | 50~99人の場合   | 2億円 <sup>※3</sup> |
|-------|------------------------|-------------------|-------------|-------------------|
|       | 5~9人の場合                | 0.5億円             | 100~299人の場合 | 3億円 <sup>※3</sup> |
|       | 10~19人の場合              | 1億円               | 300~499人の場合 | 6億円 <sup>※3</sup> |
|       | 20~49人の場合              | 1.5億円             | 500人以上の場合   | 8億円 <sup>※3</sup> |

※1. 府内常用雇用者とは、府内に住所を有し、かつ雇用保険の被保険者となっている常用雇用者をいいます。また、府内常用雇用者のうち府内他施設からの異動者を除いた者を新規府内常用雇用者といいます。  
 ※2. 大規模投資や、円高時の輸出関連産業については、別途、特別限度額が適用されます。(事業所設置補助金のみ)  
 ※3. 50人以上の区分を適用する場合における府内常用雇用者数については、府内他施設からの異動者は含みません。

府内常用雇用促進補助金

補助率等 新規府内常用雇用者数 × 右記単価 (障がい者 50万円/人、正規雇用者 40万円/人、その他 10万円/人)

交付限度額 8億円 (令和9年3月31日までに補助対象事業所としての指定を受けたもの)

| 補助対象業種                            | 補助対象要件              |   |          |
|-----------------------------------|---------------------|---|----------|
|                                   | 用地等面積               | 投下固定資産額等 (土地取得費除く)  | 府内常用雇用者数 |
| 製造業等<br>※製造業等には製造業類似事業(植物工場等)も含む。 | 工場<br>種まき型支援        | 3,000㎡かつ3億円かつ5人<br>京都の特性を活かした企業(例)・府内産の農産物を利用した食品製造・府内の大学との研究成果を活用した製品製造など<br>の立地にあつては、1,000㎡ | 5人以上     |
|                                   | 本社                  | (1,000㎡又は1億円) かつ5人  | 5人以上     |
|                                   | 自然科学研究所             | (1,000㎡又は1億円) かつ5人  | 5人以上     |
|                                   | 情報関連産業 (コールセンターは除く) | (1,000㎡又は5,000万円) かつ5人  | 5人以上     |

(注) 京都府内で事業所を移転・集約する場合は、別途要件があります。  
 →既存敷地内での増設の場合は、さらに下記のいずれかの要件を満たす必要があります。  
 現在の工場等が ①敷地面積30,000㎡以上 ②従業員200人以上 ③製造品出荷額50億円以上  
 京都府内本社企業の場合 ④直近決算売上高100億円以上

不動産取得税の軽減 (ものづくり産業等集積促進税制)

不動産取得税を最大 1/2 軽減します。

対象地域 ものづくり産業等集積促進地域<sup>※1</sup> 対象業種 製造業・ソフトウェア業・情報処理サービス業

軽減内容 不動産取得税を最大 1/2 軽減 (不均一課税)<sup>※2</sup>  
 (令和9年3月31日までに土地又は家屋を取得したもの)

| 対象施設     | 要件           |                                       |
|----------|--------------|---------------------------------------|
|          | 設備取得額(土地を除く) | 府内常用雇用者数                              |
| 工場       | 2,700万円超     | 5人以上<br>(対象企業の府内事業所の府内常用雇用者総数が増加すること) |
| 研究所・開発拠点 | 5,000万円超     |                                       |

※1 ものづくり産業の集積の促進を図る必要があると認められる地域で、市町村長の申出に基づき、知事が指定した地域をいいます。 ※2 土地及び建物を取得した者が、直接自らのづくりの用に供する場合に対象となり、営業部門や本社部門は軽減対象外です。 ○過去に追徴課税を受けている企業は利用できない場合がありますので、必ずお問い合わせください。

城陽市企業立地促進条例

| 措置        | 内容   | 対象地域及び対象者  | 対象要件   |
|-----------|--|--|--|
| 事業場等設置助成金 | ○投下固定資産額(土地取得を除く)の100分の10以内の額<br>○限度額: 3,000万円<br>(※情報関連産業、自然科学研究所及び製造業に係る事業場等以外は、1,000万円)                                     | 市内の都市計画法上の準工業地域、工業地域又は工業専用地域及び市長が指定する地域内に事業場等を移転、新・増設する企業                | ○情報関連産業、自然科学研究所の本店及び事業場、製造業に係る本店<br>→敷地面積 500㎡以上取得もしくは賃借、又は投下固定資産額等 5,000万円以上かつ地元新規雇用者数 1人以上   |
| 操業支援助成金   | ○固定資産税相当額(土地除く)に次の率を乗じて得た額:<br>(第1年度)100分の75 (第2年度)100分の50 (第3年度)100分の25<br>○3年間の交付額の上限: 5,000万円                               | ※令和9年3月31日までに指定申請して助成対象企業の指定を受けた企業の内、指定を受けた日の属する年度から4年度以内に事業場等の操業を開始する企業 | ○製造業に係る事業場及びその他の産業で、市長が特に認める産業の本店及び事業場<br>→敷地面積 500㎡以上取得もしくは賃借、かつ投下固定資産額等 1億円以上又は地元新規雇用者数 1人以上 |
| 雇用創出助成金   | ○操業開始日の属する年度の翌年度以降4年間に1年以上継続して新たに雇用した城陽市在住従業員数に期間に定めのない雇用の場合は40万円、障がい者の雇用の場合は50万円、その他の場合は10万円を乗じて得た額<br>○4年間の交付合計額の上限: 3,000万円 |  |  |

中小企業等経営強化法に基づく「先端設備等導入計画」の認定申請について

本市に所在している中小企業が2026年6月27日までに、労働生産性を一定程度向上させるため、本市の「導入促進基本計画」に基づき「先端設備等導入計画」を策定し、市に申請を行い、認定を受けることで、税制支援や金融支援などの支援措置を活用することができます。なお、先端設備等については、「先端設備等導入計画」の認定後に取得することが必須となっていますので、ご注意ください。

認定のメリット(令和4年3月現在)

- 生産性を高めるための設備を取得した場合、固定資産税の軽減措置により税制面から支援(地方税法に基づき課税標準を3年間ゼロ~1/2間で市町村の定める割合に軽減)
- 計画に基づく事業に必要な資金繰りを支援(信用保証)
- 認定事業者に対する一部の補助金における優先採択(審査時の加点)

先端設備等導入計画の主な要件

| 主な要件 | 計画期間        | 労働生産性   | 先端設備等の種類  | 計画内容   |
|------|-------------|---|---|--|
| 内容   | 計画認定から3~5年間 | 計画期間において、基準年度(※1)比で労働生産性が年平均3%以上向上すること。算定式(営業利益+人件費+減価償却費)/労働投入量(※2)<br>※1直近の事業年度末<br>※2労働者又は労働者一人あたり年間就業時間 | ・労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される下記設備<br>【減価償却資産の種類】機械装置、測定工具及び検査工具、器具備品、建物附属設備、ソフトウェア | ・導入促進指針及び導入促進基本計画に適合するものであること。<br>・先端設備等の導入が円滑かつ確実に実施されると見込めるものであること。<br>・認定経営革新等支援機関(商工会議所等)において、事前確認を行った計画であること。 |

この「ジョーカー」第6号では、このように大きく飛躍する城陽で活躍いただいている企業の皆様をご紹介します。掲載企業の代表者様のご協力に感謝するとともに、城陽を盛り上げるため、今後とも本市の産業振興施策へのご協力をよろしくお願いいたします。

現在、本市では、新名神高速道路の令和6年度の「大津・城陽間」開通に向け、高架橋の工事が着々と進み、街並みが大きく変化してきており、(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレットの整備など、さらなる本市の活性化に向けた大規模なまちづくりのプロジェクトが進行しております。  
 このようなか中で、本市の産業振興指針である「京都城陽産業がやきビジョン」が令和4年度末に計画期間の終了を迎えることから、さらなる産業振興を目指すため、引き続き後期5カ年の計画策定に向け、取組を進めております。  
 令和4年、市制50周年を迎えます。本市のさらなる飛躍を目指し、「希望あふれる城陽」「誰もが輝いている城陽」、そして新たな城陽「NEW城陽」の実現に向け、すべての関係者と連携して産業振興に取り組んでまいります。

現在、本市では、新名神高速道路の令和6年度の「大津・城陽間」開通に向け、高架橋の工事が着々と進み、街並みが大きく変化してきており、(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレットの整備など、さらなる本市の活性化に向けた大規模なまちづくりのプロジェクトが進行しております。

